

【別紙】令和元年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立 十二月田中学校)

(A 4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	心豊かにたくましく生きる生徒 ～輝く笑顔 光る汗～
目指す学校像	教師がしっかりと教え、生徒がきちんと学ぶ学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	名
事務局 (教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 2 年 2 月 1 1 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<p>〔現状〕 ベテラン教員が若手教員の構成になっており2極化が進んでいる。さらに若手の教員が増えている。 〔課題〕 ミドルリーダーとして若手を育成していくことが課題である。</p>	<p>1 ベテランと若手を融合させさらに、各教職員の強みを生かした取組の充実。 2 学習指導、生徒指導等方針や指導方法の共有化をすることで同一歩調を進めていく。</p>	<p>1 校務分掌の適切化と組織の組み直し。教職員の特性を生かし、適材適所配置。 2 本校の課題を全員が共有し、お互いが話し合える雰囲気を作り、学校全体の同一歩調の取組を推進させる。</p>	<p>1 融合は十分出来たとはいえない。学校全体では個々で実践する傾向がある。 2 教科セクト・学年セクトの枠を払いきることが出来なかった。同一歩調まで入っていないが、生徒指導部会などで足並みをそろえるようにした。</p>	B	<p>○組織を使った学校全体で進めコンセンサスをとる必要がある。校内研修を活用し、学校としての基盤を固めたい。</p>
教育課程	<p>〔現状〕 学力については一定の成果はあがっているが、生徒の力に頼っている。 〔課題〕 教員が生徒の目線に立った指導方法を学ぶ必要がある。</p>	<p>1 生徒の目線に立った指導方法の工夫・改善。 2 学校としての基本方針を明確にしていく。誰もがわかる授業を学校として統一していく</p>	<p>1 十二月田小朝日西・東小の連携を視野に入れた指導方法の工夫・改善を推進する。 2 ユニバーサルデザインの視点に立った教育を推進する。</p>	<p>1 ベテラン教員より若い教員の方が生徒目線で授業をすることが多く出来ていた。 2 誰もがわかる授業の実践までは到達していない。指導方法に個々の思いがあり、学校全体としての統一感はない。</p>	B	<p>○小学校と連携を図り、生徒の目線に立つ授業は、必ず実践しなければならない。教師主導からの授業からの脱却を図る研修を実践する。</p>
開かれた学校づくり	<p>〔現状〕 学校間の連携はできているが、地域からの協力を甘んじている現状がある。 〔課題〕 民生委員、町会との連携強化およびかわりの強化が課題である。</p>	<p>1 民生委員会議等を活用した学校と地域との情報、問題意識の共有化。 2 HPやメール等を活用した保護者、地域への積極的な情報発信。</p>	<p>1 民生委員会議の充実と町会等との関係強化を図る。 2 HPの定期的更新、毎月の学校だよりの発行 (町会へ回覧) を行う。</p>	<p>1 本校における民生委員さんの意識の高さには驚いた。学校に珠恵になることは何は何でもやりたいという雰囲気が伝わってきた。 2 HPの更新は大きなは課題として残ってしまった。</p>	B	<p>○地域に支えられている学校であることを、強く感じている。その強みを是非経営に生かしていきたい。HPの更新・情報発信は急務である。</p>
教職員の資質向上	<p>〔現状〕 校内研修は、計画的に行われているが実態に即していないものがある。 〔課題〕 生徒を主体にした指導方法の研修が課題である。</p>	<p>1 学年によって学力の差があるため、学年クラスの実態を正しく把握する。 2 生徒を主体にした「主体的・対話的で深い学び」を実践させるための指導方法の工夫改善。</p>	<p>1 全国学テ等の分析を全職員をあげて行い実態を把握する。 2 年度当初に策定した計画による研修を確実に実施する。</p>	<p>1 学年のよって学力の差はある。ある程度、実態把握は学校としてレベルを上げたい 2 生徒主体の授業より教師主導型が目についたのが事実である。</p>	B	<p>○生徒の質がよいため、学ぼうとする姿勢が強く感じられる。教員の指導力の向上は使命でもある。わかる授業を展開していきたい。</p>
施設・設備等の管理	<p>〔現状〕 旧校舎で老朽化している部分が増えている。 〔課題〕 旧校舎施設の計画的な整備、補修のために計画的に予算執行することが課題である。</p>	<p>1 安心・安全な学校作り。 2 美しい校内環境の整備。</p>	<p>1 毎月の安全点検を活用し、必要な補修等速やかな対応を行う。 2 補修等の計画的な予算執行を行う。 2 担任や美術担当等による学級掲示、校内掲示の充実を図る。</p>	<p>1 毎日の校舎内の巡回により危険箇所はできるだけ排除した。 2 清掃活動が十分とはいえないため校務員さんに手助けしてもらった事があった。</p>	A	<p>○生徒の安心安全の確保は最優先課題である。次年度も継続するが、生徒の清掃に対する意識も変えて行く必要がある。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和 2 年 2 月 1 2 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○職員が2極化は十二月田中学校だけのものなのか?→全県下であること、生徒の移り変わりを説明。→いい意味での意見のぶつかり合いがほしい。 ○職員の仲はどうか→組織でうまく回っていないことがあるのも事実→職員が同じ方向を向くように指導してほしい。	
○この地域の人たちの学力は、新たに來られた方の力も大きい。学校だけでなく地域としても、学校がよくなるよう、同じ方向で学力がつくよう協力したい。今のままの成績が継続できるように、学校は進めてほしい。	
○学校に來られていない生徒への対応は、かなり難しいと思うが、相談室の機能が充分充実してきているのではないかと。 ○時代が変わってきたので、HPの更新は要求に合わせてしてほしい。	
○クラスや先生によって指導の差が、出ないようにしてほしい。生意気な子がなくなった分、別な意味で手のかかる生徒が増えてきているような気がする。先生方の研修で指導方法を学び、課題のある生徒へも丁寧に指導してほしい。	
○新しい校舎と古い校舎のよさを生かしてほしい。雨漏り等は避難所との関係もあるので対応しておいた方がよい。市内で一番古い校舎なので、古い校舎の良さも大事にしほしい。	